

第79回国民スポーツ大会

- 会期前 -

我らかく戦う



【期日】 2025年9月6日(土)～9月25日(木)

【会場】 滋賀県草津市他



公益財団法人北海道スポーツ協会

我らかく戦う / 第79回国民スポーツ大会・会期前1回目

No.	競技名	種別	評価	予想順位	戦いの展望	有望選手・チーム	特記事項、話題など
1	水泳(競泳)	全種別	3	市村優弥:優勝 黒田一瑳:優勝 リレー:3位	市村・黒田の2名の個人種目優勝を筆頭に男子B・A・成年の各選手がどれだけ奮起出来るかが見どころである。女子個人では、大石(少年B)、佐藤(少年A)の決勝進出を目指す。	市村優弥、黒田一瑳、成年男子リレー	黒田(少年男子A)100m自由形 連続入賞 第77回:優勝、特別:優勝、第78回:2位
	水泳(OWS)	女子	5	蝦名愛梨:優勝	今年の世界選手権で活躍した梶本選手が強いライバルとなるが、積極的なレースで好成績をあげられる。	蝦名愛梨	国民スポーツ大会9年連続出場(中止3回含む)
2	バレーボール (ビーチバレー)	少年男子	3		橋本の経験が川尻をプロデュースすることによって戦力が安定することに期待。		橋本優希:2年連続出場
		少年女子	2		身長は高くないペアだが、仲の良い2人なので元気良くプレーしてくれることを期待する。		
3	体操競技	成年男子	5	3位	昨年度も6位入賞しており、今年はさらに戦力アップしているため3位入賞を目指します。	前田航輝	全日本NHK杯15位、ゆか跳馬入賞 兄弟出場:青木翔汰、龍斗
		成年女子	2	8位	ミスのない演技を目指し入賞を狙う。		
		少年男子	2	18位	試合を楽しみ伸び伸び演技する。		兄弟出場:大嶋希斉、千敬
		少年女子	3	18位	昨年のリベンジを果たす(決勝進出)		
	新体操	少年男子	5	3位	完璧な演技をして上位成績を収める。		R6インターハイ団体6位 R6全国選抜大会団体7位
		少年女子	3	17位	クラブチームでの初出場なので、強いチームワークで大会に臨みたい。例年よりも少しでも順位を上げたい。		
	体操(トランポリン)	男女	3	山崎凌空:3位 湊谷幸歩:10位	男子は、昨年同様に本人のベストスコアが出れば、上位入賞は確実といえる。 女子は今回が初出場のため、直近の試合結果からの予測となるが、決勝進出の可能性は十分にある。		山崎凌空 :世界年齢別大会2年連続日本代表 個人銅メダル 全国高校選手権準優勝 全道大会連覇 湊谷幸歩:北海道大会優勝経験あり
4	自転車	少年男子	3	寺町悠希:3位	自分のストロングポイントを活かした勝負所を積極的に動き、一瞬のチャンスを見逃さないレース展開を期待しています。	寺町選手は日本代表強化指定選手として国内や海外レースを経験し先日行われたインターハイでは4位入賞を果たし、本大会においても積極的なレース展開を期待しています。	寺町選手:2025年インターハイロード 4位